

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	次世代医療機器開発へ向けた内視鏡外科手術における暗黙知のデータベース構築
	研究目的	手術手技は従来、術者の経験・知識に基づく判断・技量によっていわゆる暗黙知という形で行われ、内視鏡外科医が手術中どのように安全に効率的に手術を進めているか、これまで暗黙知とされていた。 現在の外科治療において、創痛が少なく、術後の回復が早い低侵襲な内視鏡手術の症例が年々増加するなか、手術手技や術者判断をデジタル化し、次世代の手術支援機器開発へつなげていくことが急務であると考えます。 本研究では、腹腔鏡下 S 状結腸切除術、もしくは直腸 S 状部癌に対する腹腔鏡下前方切除術(低位前方切除術を含む)が施行された症例を対象とし、手術中に録画された手術映像と、患者の臨床情報、術者背景のデータを収集する。将来の手術支援機器・手術評価システムの開発を視野に、データベース構築を目指すための研究である。
	研究対象者	2009 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までに腹腔鏡下 S 状結腸切除術、もしくは直腸 S 状部癌に対する腹腔鏡下前方切除術(低位前方切除術を含む)が施行された症例
	研究期間	西暦 2018 年 6 月 29 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(手術動画) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	神奈川県立がんセンター 消化器外科 塩澤学
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	神奈川県立がんセンター 消化器外科 国立がん研究センター東病院 大腸外科/先端医療開発センター 伊藤 雅昭 国立がん研究センター東病院 大腸外科/先端医療開発センター 竹下 修由 国立がん研究センター東病院 医療情報部 島田 薫 国立がん研究センター東病院 臨床支援部門 システム管理室 青柳 吉博 国立がん研究センター東病院 機器開発コーディネーター室 山本 知生 国立がん研究センター東病院 大腸外科 北口 大地 北里大学医学部 下部消化管外科学 渡邊 昌彦 筑波大学 消化器外科 榎本 剛史 九州大学 先端医療イノベーションセンター 橋爪 誠 名古屋大学大学院 情報科学研究科 森 健策 千葉大学 フロンティア医工学センター 中村 亮一 株式会社 情報医療 原 聖吾 株式会社 情報医療 巢籠 悠輔 <データ提供施設> 国内 74 施設の病院